

「信州 火山防災の日」(仮称)の制定に関する県の考え方(案)への
県民意見公募結果

1 募集期間 令和4年12月28日(水)から令和5年1月26日(木)まで

2 件数 10件、3人

3 お寄せいただいたご意見と県の考え方

	お寄せいただいたご意見等	県の考え方(対応等)
1.	ご親族の方々などは、今なお深い思いがあるように思います。少しでも、心の支えになるように、上手にビジターセンターなどを活用して頂ければ幸いです。	ビジターセンターの効果的な活用方法については、ご遺族等の心情に寄り添った展示内容等を心がけ、引き続き指定管理者と協議して参ります。
2.	御嶽山噴火災害では地元への経済的被害は大きかったと思います。他地域の他の災害に比べて、経済復興が鈍いように感じます。 地元の方は、それでも安全第一に考えているところが、木曽地域の人々の素晴らしいところだと思います。ぜひ経済復興にも、焦点をあてて欲しいです。	「信州 火山防災の日」制定の趣旨にあるように、火山及び周辺地域の魅力の発信による地域振興も制定の目的としています。 「信州 火山防災の日」の制定を契機に、火山との共生を目指した取り組みを観光団体などにも参加いただき推進して参ります。
3.	この度、「信州 火山防災の日」が制定されますが、火山噴火自体は台風や地震などに比べて発生頻度が極端に少なく、「身近に迫る災害」として捉えている方が極めて少ないのは、至極当然のことと思われれます。 また、多くの方は「火山は怖い」「噴火は怖い」という「負のイメージ」を持っています。 「私は火山に登らないから関係ない…」と思っている方も多いと思います。 しかし、長野県内の学校登山で登っている山の多くが「火山地質」であり、身近な場所が「火山」と何らかのつながりがあることを知る事も大切です。 観光や農業・インフラ整備等にも「火山」は大いに関係があり、「火山は怖い」と言うより、「火山と共生」といった「プラスイメージ」のキーワードも表に出していければ良いです。	県では、「信州 火山防災の日」の制定を契機に、シンポジウム、安全登山啓発運動、火山防災教育等の様々な取り組みを通し、火山と共生し「火山防災先進県」を目指して参ります。

	お寄せいただいたご意見等	県の考え方（対応等）
4.	<p>取り組み案にあるような「火山防災シンポジウム」等の大きな行事も大切です。</p> <p>火山学の専門的な講演は必要ですが、やはり一般向けにはハードルが高いと思われます。</p> <p>先に木曾で開催された「御嶽山シンポジウム」で行われた、草津白根や箱根町における「火山防災と観光の両立」など、実際の当事者である住民・企業・行政ベースの「生の声」はリアルに響き、多くの方の興味を引く内容と思います。</p>	<p>令和5年度に開催予定の火山防災シンポジウムの内容については、現在調整中ですが、学術的な内容だけではなく、県民の皆様も参加しやすい内容にしたいと考えています。</p>
5.	<p>焼岳や浅間山等の関連団体や企業などは、まだ、一堂に会したことがありません。</p> <p>関係団体の横のつながりとして、「とりあえず集まってみる」機会も良いと思います。</p> <p>初めから進歩的なミーティングが出来る訳ではありませんが、「県内活火山のネットワーク構築」への一歩は大切と思います。</p>	<p>「火山防災先進県」を目指す上で、県内火山の連携は不可欠であると考えます。</p> <p>「信州 火山防災の日」の制定を契機に、県内のそれぞれの火山地域で活動している団体等との連携に取り組んでいきます。</p>
6.	<p>御嶽山火山マイスターネットワークは県内唯一の「火山専門の団体」であり、県内各地の図書館企画や地区公民館行事などに「出前講座」や「出前火山カフェ」として、気軽に呼んで頂ければどこへでも伺う「フットワークの軽さ」も必要なのですが、個人個人にも本業があり、広報活動や活動資金面なども今後の課題です。</p>	<p>制定の趣旨を達成するには、県内唯一の火山分野に特化した資格を持つ「御嶽山火山マイスター」との連携が必要であると考えます。</p> <p>御嶽山火山マイスターの先進的な取り組みが、他の火山地域に波及拡大するよう、引き続き活動の支援を行って参ります。</p>
7.	<p>登山客、観光客など、県内に在住していない方に対しての周知について、「信州 火山防災月間」の期間から外れてしまうが、5月の連休やお盆の時期などの観光シーズンにも啓発活動の実施を検討されてはいかがか。</p>	<p>「信州 火山防災月間」は取り組みを重点的に行う期間として定めますが、それ以外の期間についても、積極的な活動を推進して参ります。</p> <p>具体的な取り組み内容や、実施時期については、市町村、火山防災協議会等と連携して取り組んで参ります。</p>
8.	<p>「信州 火山防災月間」の期間中には、「防災の日」（9月1日）があることから、他の自治体や民間団体等で開催される防災に関連したイベントでの活動も検討されてはいかがか。</p>	<p>ご意見のとおり、各種防災イベントでも活動を行うことで、より多くの方に火山防災について周知できると考えます。</p> <p>今後、防災イベントとの連携について、関係者等と相談して参ります。</p>

	お寄せいただいたご意見等	県の考え方（対応等）
9.	子どもや普段から防災活動に触れる機会が少ない人に向けては、火山防災に興味を持ってもらうために、自然体験車や火山現象の実験なども使い、楽しみながら火山防災を学ぶことができる仕組みなども検討されてはいかがか。	子どもたちへの火山防災教育も活動の一つと考えており、多くの方に火山防災について興味をもっていただけるよう、いただいたご意見も踏まえ、様々な方法により火山防災を学べる取り組みについて検討して参ります。
10.	全国でも過去に大きな噴火災害が発生していること、御嶽山噴火災害では県外在住の方も被災されていることから、長野県での「信州 火山防災の日」の活動を通じて、国内全体で火山防災に対する普及啓発活動が行えると、長野県の火山防災にとってもより効果的な活動になると考えられるが、関係省庁とも協力しながら、将来的には全国的な活動への展開も検討されてはいかがか。	<p>「信州 火山防災の日」の活動では、まずは県内での活動を中心にしてはいますが、登山者等は全国から来県されるため、日本全体で火山の理解と関心を深める必要があると考えます。</p> <p>県では、火山防災強化推進都道県連盟を通じ、国へ「火山防災の日」制定を要望しているところです。</p> <p>「火山防災先進県 長野」を目指し、全国に発信できる取り組みを検討して参ります。</p>